

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-510028 (P2001-510028A)

【公表日】平成 13 年 7 月 31 日 (2001.7.31)

【出願番号】特願 2000-502802 (P2000-502802)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 9/127 (2006.01)**

**A 6 1 K 35/76 (2006.01)**

**A 6 1 K 48/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/10 (2006.01)**

**C 0 7 K 19/00 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/10 1 0 1

C 0 7 K 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 20 日 (2005.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 血管増殖性疾患を、処置の必要のある患者において処置するための薬学的組成物であって、p 27 をコードする遺伝子の治療的有効量を含む、薬学的組成物。

【請求項 2】 前記 p 27 が、変異を含むかまたは第 2 のポリペプチドに融合される、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3】 前記第 2 のポリペプチドが、チミジンキナーゼである、請求項 2 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4】 前記遺伝子が、発現ベクターに含まれる、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5】 前記発現ベクターが、真核生物ベクターまたはウイルスベクターである、請求項 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】 前記ウイルスベクターが、アデノウイルスベクターである、請求項 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】 前記アデノウイルスベクターが、複製欠損である、請求項 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】 前記血管増殖性疾患が、再狭窄である、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】 前記血管増殖性疾患が、アテローム性硬化症である、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】 前記血管増殖性疾患が、血管形成である、請求項 1 に記載の薬学的

組成物。

【請求項 1 1】 前記発現ベクターが、リポソーム中にカプセル化される、請求項 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 2】 前記患者がヒトである、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 3】 前記薬学的組成物が、非ウイルス性発現ベクターおよびウイルス性発現ベクターの 1 m l あたり約  $10^6 \sim 10^{11}$  p f u の量での投与のために処方される、請求項 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 1 4】 患者において内臓平滑筋細胞増殖を阻害するための薬学的組成物であって、p 2 7 をコードする遺伝子の治療的有效量を含む、薬学的組成物。

【請求項 1 5】 第 2 のポリペプチドに作動可能に連結される、p 2 7 の融合タンパク質。

【請求項 1 6】 前記第 2 のポリペプチドが、チミジンキナーゼである、請求項 1 5 に記載の融合タンパク質。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

( I . p 2 7 およびその融合タンパク質 )

p 2 7 ( 第 1 のポリペプチド ) のアミノ酸配列を、図 5 ( 配列番号 9 ) に示す。このタンパク質をコードする DNA も、本発明に従って使用され得る。p 2 7 をコードする c DNA は、P C T 公開公報第 W O 9 5 / 1 8 8 2 4 号、P C T 公開公報 W O 9 6 / 0 2 1 4 0 ( 出願人 : S l o a n - K e t t e r i n g I n s t i t u t e F o r C a n c e r R e s e a r c h ) 、 T o y o s h i m a ら ( C e l l 1 9 9 4 , 7 8 : 6 7 - 7 4 ) 、 および P o l y a k ら ( C e l l 1 9 9 4 , 7 8 : 5 9 - 6 6 ) に記載される。本明細書で 사용되는場合、「p 2 7」とは、天然のままの p 2 7 ならびにその変異した p 2 7 および融合タンパク質の両方をいう。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】

図 5 は、p 2 7 の DNA 配列 ( 配列番号 1 ) およびタンパク質配列 ( 配列番号 9 ) を示す。